

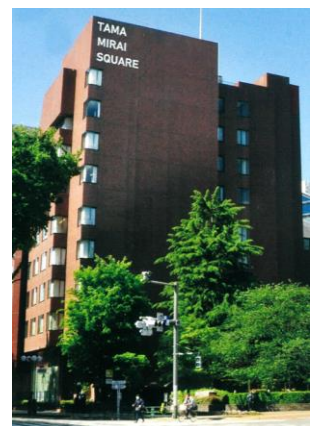
### 遂に迎えた2025年、気になるニッポン

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。昨年は能登半島地震から始まる大変な1年でした。年末に気になる新聞記事があった。

#### 気になる新聞記事

- 東京12/20 都内病院次々赤字に 物価・人経費高、コロナ補助金減 地域医療崩壊懸念
- 東京12/20 PFAS 横田立ち入り 汚染水流出疑いで国など きょう米軍から現場説明
- 朝日12/22 子いない独居高齢男性 2050年に520万人 孤独死の懸念も
- 朝日12/22 孤独死した父の死亡届出した覚えなし 遺体引取難色→市側が無断手続き
- 産経12/22 中国資本流入「東京博善」 火葬代東京23区民営9万円 立川市無料
- 産経12/22 葬儀とセット高額利用料都は「妥当」民間任せのツケ、多死社会進行反応鈍
- 読売12/22 医師偏在対策 都市部・開業規制 不足地・手当増額 厚労省効性疑問の声
- 朝日12/23 見逃される「事件性」解剖が死因究明のカギ 人手・予算に課題
- 産経12/23 医師不足地方悲鳴 理事長外科医復帰 夜間休日救急撤退 70代で月8当直

1年間このようなニュースばかり、日本人の持つ「矜持:きょうじ」はどこにいったのか?政治と金、投資、ニーサ…金があれば幸せ?IT、AIと死まで自動化?危機を自分で乗り切れる?高齢多死社会を迎え、「介護」が必須と、2000年4月に始まったのが「介護保険」である。その2か月前の2000年2月に在宅緩和ケア専門「井尾クリニック」を開業した。父の癌死を機に、日本の緩和ケアのお粗末さ、死に場所の選択肢の無さ、人は100%死を迎える、死を扱う医療が無いと開業した。その頃から2025年には団塊世代が75歳を迎え、死亡数が急増すると言われていた。ピーク時には170万人が死亡すると想定されたが、2023年には約160万人となり、想定を超える増加である。更に深刻なのは出生数、70万人を切る勢いで減り続けている。人の一生に必要な原理原則が壊れかけている?気がする。人生は「生と死」、生きるとは「食う・出す・寝る」、人生に必要なのは「人・物・金」、生きるに必要なのは「医・食・住」である。「生と死」生まれてくることは選べないが、死は何で・いつは選べないが何処は選べる。人間とは「食う・出す・寝る」だけである。幼子には保育が必要、高齢になれば介護が必要なだけである。人生に必要なのは「人・物・金」だが一番大事なのは人、最低限の物、最低限の金、必要以上はいらぬ。そして「医・食・住」昔は衣だったが、今は生まれる前から死ぬまで医が一番大事である。ここで言う「医」とは医師のことでは無い、医師・看護師・薬剤師・歯科医師等医療に従事する人のことである。特に、高齢多死社会に投入し「病院完結型医療」から「地域完結型医療」に変換しつつある現在から未来にかけては「死」を意識した地域医療の充実が求められる。そのために必要なのが家で死にたい人には「訪問診療」「訪問看護」、家では無理な人には「サ高住」等である。しかし問題は「矜持」である。矜持とは、自分の能力を信じていただく誇り。自負。プライド。医療に従事する人間には大事な「心」だと思ふ。しかし、今の世の中、金・金・金…(どこかの時代劇?)「最期まで診る・看る・看取る」が訪問診療・訪問看護・サ高住の矜持だと思ふが、看取りを放棄、「救急車呼んで下さい」と死体検案書で終了、何処へ忘れてきた!なんで始めた!



立川在宅ケアクリニック



## 多摩在宅ケア・緩和ケアネット

第102回：2025年2月20日（木）午後7時～8時30分

演題：在宅ケアにおけるスピリチュアルケア  
～臨床宗教師の実践から～

講師：関東臨床宗教師会代表 井川 裕寛

上智大学大学院実践宗教学研究科（死生学専攻）博士後期課程修了。博士（文学）。同大学院特別研究員を経て、2024年4月より東北大学大学院文学研究科（宗教学専攻分野）特任助教。専門は宗教社会学、社会福祉史、臨床スピリチュアルケア。みやびハート&ケアクリニック臨床宗教師（非常勤）関東臨床宗教師会代表。

会員以外の方も参加可能です。参加費1000円です。

### 場所

立川ビジネスセンタービル 11階第6会議室  
(立川商工会議所貸会議室)

### 会員登録について

今年度の研修会は最終回となるため、新規の会員登録は受け付けておりません。会員でない方でご参加をご希望の場合は、事前にお申込みいただき、当日会場にて参加費1,000円をお支払いください。

### 申込先

医療法人社団 在和会立川在宅ケアクリニック内  
多摩在宅ケア・緩和ケアネット事務局 担当：山口  
Fax 042-506-1991  
メール info@zaitaku-care.com

## 在宅緩和ケア講演会（市民講演会）

### タイトル 死に方の極意 ACPの勧め

講師：立川在宅ケアクリニック 理事長 井尾和雄

日本は超高齢多死時代に突入しています、2025年からは団塊世代が75歳を迎え更に年間死亡数（2022年は156万人）が急増します。現在の日本の医療・看護・介護、死の現実、死に方の極意、ACP等をお話します。

【開催日時】午後1時半～3時半

⑤2025年 1月 8日(水)

⑥2025年 2月 12日(水)

⑦2025年 3月 12日(水)

場所：〒190-0012 東京都立川市曙町2-8-2 8  
TAMA MIRAI SQUARE 3階 カンファレンスルーム

定員：30名 参加費：無料

申し込み：042-506-1993

立川在宅ケアクリニック（平日10時～16時）

## コラム「これは駄目だろ！」掲載⑤

ホテルウォシュレットノズル、超汚い、  
これ駄目だろ！

## ● 緩和ケア外来もご利用ください。

病院の治療と併診しながら、がん・その他の疾患の緩和ケアを行います。いつでもお問い合わせください。

## ● 在宅療養支援相談

がん、慢性疾患、認知症、寝たきり、老衰などの在宅療養の相談お受けします。いつでもお問い合わせください。

## 当院の訪問診療開始までの流れ

### ① 面談受付

- 予約制です。電話または「面談申込書」をFAXしてお申込みください。「面談申込書」は当クリニックのホームページよりダウンロードできます。面談時には「診療情報提供書」が必ず必要です。

### ② 面談日の設定

- 当クリニックより家族に電話連絡し、面談にお越し頂く日時を決めます。
- 独居の方は、本人・親族・ケアマネージャー・行政担当者等が面談にお越し下さい。

### ③ 面談

- 以下の面談担当医スケジュールにて行います。

面談	月	火	水	木	金
9:30~10:30					
10:30~11:30	井尾	小西	荘司	井尾	荘司
11:30~12:30	x	x		x	x

- 面談は1時間を予定しておりますが内容により時間を要する場合があります。

### ④ 初回訪問診療

- ご自宅の方へは面談当日より訪問診療を開始します。
- ご入院中の場合は退院日より訪問診療を開始します。

## 当院での看取り患者数（施設も含む）

4,813名 ～2024年12月31日（累計）  
（がん3,794名・非がん1,019名）

看取り報告(12/1～12/31):14名	在宅療養期間
76歳 男性・多発性骨髄腫	4日
75歳 女性・乳癌	378日
65歳 女性・腓体部癌	5日
74歳 女性・食道癌	58日
75歳 男性・肺癌	2242日
71歳 男性・膵癌	172日
80歳 男性・左下葉肺腺癌	88日
89歳 男性・食道癌	412日
86歳 男性・前立腺癌	4日
82歳 女性・アルツハイマー型認知症	777日
55歳 女性・卵巣癌	185日
82歳 男性・肝内胆管癌	161日
82歳 男性・胃癌	54日
87歳 男性・間質性肺炎	22日

